



おめでとうございます 厚生労働大臣表彰

去る12月13日に「令和4年度 全国福祉大会」が浅草公会堂で開催され、本市から1団体、1個人が厚生労働大臣表彰を受けました。

ボランティア功労者(団体)

活動ネットワーク北河内
傾聴ボランティア「14の耳」

ボランティア功労者(個人)

宇治 啓子 さん
(成美校区福祉委員)



ボランティア相談員のおもい

当市のボランティアセンターでは9人の相談員が、熱いおもいを持ってボランティア活動の相談や需給調整などに携わっています。お気軽にお立ち寄りください。

- 活動日時：月・水・金曜日の午前10時～15時
- 場所：社協 手前の事務所奥

■ふれあい～学びの関係づくり■

齋藤 和子

私が大切にしていることは人との「ふれあい」です。その中で学び合える関係づくりを心がけていきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

■気になる人に声かけ■

宮崎 静美 (文・絵)

皆さんは「大きなカブ」という民話を覚えておられますか？大きなカブはお爺さんだけの力では抜けませんでした。お婆さん、孫、犬、猫、最後に小さな鼠がやってきて、皆で引っ張ってやっとカブが抜けました。

地域にはこのような小さな手伝いで助

かる方がおられます。老若男女年齢問わず一人でも多くの方が小さな協力の力を知ってほしいと思います。気になる人がいたら声かけるそんな人に私はなりたい。



9人の相談員

- 野涯 周子
- 新宅 智子
- 衣川小夜子
- 山崎 祥子
- 大富まゆみ
- 尾崎 和子
- 中村 順市
- 宮崎 静美
- 齋藤 和子



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター
電話：072-838-0400
URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>



ホームページ ツイッター インスタグラム フェイスブック

上記のQRコードを携帯電話やスマートフォン等から読み取ると、本会の各SNSページにつながります。

新しい年の元気な講座 「成長の糧に」「伝える大切さ実感」などの感想続々

子供たちが広く福祉にふれる機会づくりを目的に、福祉教育の「魅力」を伝え、福祉体験学習の現場や世代交流の場で活躍できるボランティア育成を目的とした講座(シニア編=2回開催)が、また、活動に不可欠なコミュニケーション力アップのための講座(技術編)が開かれました。



講座(シニア編)について説明する社協担当職員

○未来の福祉教育ボランティア講座

いずれも寝屋川市立市民会館 研修室にて講師に上野山裕士さん(摂南大学講師/博士(人間科学))を迎え、1日目(1月18日)は「福祉教育の魅力や取り組み方について」の講義。2日目(1月24日)は擬似体験ボランティア「うらしまさん」から、福祉体験や活動の思いなどを聞きました。また、個人・グループワークでは参加者が「得意分野」などについて話合う機会になりました。

参加者からは

■今まで、福祉やボランティア活動について無関心でしたが、先生のお話しなどから、改めて福祉教育の大切さを痛感しました。

■「福祉教育とは」を学ぶことができました。講師から教わったポイントを軸に、子供たちと共に学び成長したいと思います。

○ボランティア活動力アップ講座

1月26日、寝屋川市立市民会館 第1会議室で「見直そう！地域活動におけるコミュニケーション

の力 私のコミュニケーション力」について川島憲志さん(フリーランス)の講演がありました。

受講者からは「活動の原動力や魅力、人とつながることの重要性や継続することの力を知り、また、コミュニケーション力のつけ方のポイントやアドバイスに納得できました。『自分のできる範囲で伝えられることや積極性を楽しく学べた時間』になりました。世代を問わずボランティア活動が広がるとさらに寝屋川も住みやすい地域ができると思うし、その力を今回受講して実感しました」との感想が寄せられました。



講師の話に聞き入る受講生の皆さん

福祉委員会紹介

今年度こそとはじめた活動

南校区福祉委員会

できることから、少しずつという思いで、校区活動の一つ「おしゃべり喫茶」からボランティア部会員が今まで通りの活動が維持できるように。また、日頃病院通いと買い物しか行動できない方を対象に健康体操を月2回。参加者毎回25人以上。参加者が口ぐちに「大ヒットだね」と好評です。

南小学校の福祉教育支援（アイマスク、車椅子、高齢者擬似体験）。50日間で打ち



「近頃は家に閉じこもりがちですが、こうしてみんなまで体操できるとはうれしいし、体も気分もほぐれます」との声も聞けました



小学生に高齢者の体験「大きく育て思いやりの心」

合わせ、準備、本番と少々課題はありましたがアルコール消毒を取り入れながらクリアしました。

そして、1月24日には社協、障害当事者団体の協力を得て、災害時に備えた「地域丸ごと座談会」を岩木啓子氏の進行で、21人の校区の委員があつという間の2時間を共有しました。

「支援が必要な方の気持ちが少し理解できたような気がする」。などの感想が。

なお、コロナ禍でもミニディサービスは会食から配食へ月1回、一人暮らし高齢者、老々介護世帯への配食サービスは注意喚起のチラシを添えて年2回続けています。(南校区福祉委員会委員長談)

ボランティア活動再開の動き

ボランティアセンター受給調整から

コロナ禍でボランティア調整がほぼ無の状態から、ようやく増えてきました。

今年度後半の特徴として、大きなイベントが再開されるようになり、点野校区の「ちいきまつり」には4登録団体が参加。

また、【「ヒゲの校長」関西エリア自主上映委員会】(ろう者の言語を守った真実の話)の依頼には7人の個人ボランティアが活動しました。

活動者からは「主催スタッフから手話で『マスクの着用や手指消毒のお願い』を教

わり、来館者に通じたことは大きな喜びになり、手話への関心が高まりました」との感想が届きました。

【ねやキッズ実行委員会】の活動には宇谷・東・三井・国松緑丘校区のボランティア10人が参加。

施設や校区からの依頼では多数の登録団体や個人ボランティアが活動しました。

新たに登録団体の活動をビデオ撮影する団体【MVP】の登録もありました。

「現場での活動が制限される中であって、ビデオでの活動紹介はとてありがたいです」との声も寄せられました。



心も体もうきうき

登録Vグループ連絡会「活動の場づくり」

「活動の場づくり」の取り組みとして、登録ボランティアグループ連絡会で活動発表を実施しています。

今回は1月10日に【うきうきわくわく音心の会】が活動を披露しました。

演奏に合わせて懐かしい歌を歌ったり、トーンチャイムの音色を感じながら演奏したり、音楽に合わせて手足を動かしたりと、心と身体で音楽を楽しみました。参加者からは



歌や軽体操を披露、指導する【うきうきわくわく音心の会】



リズムに乗って軽体操を楽しむ参加者「みんなに会って、体を動かし・・・気持ちも軽くなりました」=保健福祉センターで

「昔の音楽が流れると歌詞がなくても歌えるね」「懐かしさがこみ上げて当時のことを思いだすわ」などの声が聞かれました。

コロナ禍で活動が停滞している中、他のグループのモチベーションの向上にも繋がり有意義な時間になりました。

団体・個人登録ボランティアの皆さまへ

現在ボランティアセンターに登録いただいている団体・個人対象に登録更新の確認をしています。令和5年度登録希望の方は申請をお願いします。

- 登録期間：令和5年4月1日～翌3月31日まで
○申請方法：団体＝団体登録申請と関係文書をボランティアセンターに提出
個人＝個人登録申請をボランティアセンターに提出

○提出期限：令和5年3月31日
※ボランティア保険加入手続きもお願いします
※詳細は当センターまでお問い合わせください

☎072-838-0400

「詐欺」が横行しています



こんな電話は特殊詐欺の可能性あります！

- 家族のふりをしてお金をだまし取るオレオレ詐欺
○市役所のふりをして「還付金がある」と言ってお金をだまし取る還付金詐欺
○銀行や警察のふりをしてキャッシュカードやクレジットカードをだまし取る預貯金詐欺
～寝屋川市HPより～